

平成 25 年度第 9 回石狩市厚田区地域協議会

【日 時】 平成 25 年 12 月 19 日（木） 17:00 ～ 17:45

【場 所】 望来コミセン みなくる ホール

【出席者】 11 名（15 人中）

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
会長	佐 藤 勝 彦	○	委員	小 山 玲 子	○	委員	前 田 和 也	
副会長	渡 邊 教 円	○	委員	今 光 江		委員	美 馬 康 子	
委員	大 黒 利 勝	○	委員	柴田 志寿子	○	委員	盛 重 栄 司	
委員	小笠原 英史	○	委員	柴 田 肇	○	委員	築 田 敏 彦	○
委員	河 野 すみれ	○	委員	高 橋 敬 二	○	委員	吉 田 美 香	○

※正副会長を除き、あいうえお順

支 所 ～ 尾山支所長・池垣課長・熊谷課長

事務局 ～ 高田課長・栗谷主査・渡部主任・永澤主任

（地域振興課）

【傍聴者】 2 名

【次 第】 1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 情報交流（リラックス タイム）

・地域の「ちょっといい話題」交流

4. 報告事項

・複合施設構想策定委員の決定について（資料 1）

・地域協議会情報誌「厚田区あったかニュース第 5 号」の発行について（資料 2）

5. 協議事項

・地域おこし協力隊選考委員の選出について（資料 3）

6. その他

・次回会議の日程について

7. 閉会

1. 開会

高田課長： 皆さんお晩でございます。地域協議会に入る前に、盛重委員、美馬委員、前田委員、今委員の4名から都合が悪く出席出来ないご連絡を受けておりますので、報告をさせていただきます。

平成25年度第9回石狩市厚田区地域協議会を開会致します。会長から挨拶をよろしくお願い致します。

2. 会長あいさつ

佐藤会長： 皆さんお晩でございます。今年も残すところ2週間程となり、今年1年はどんな年だったかという少し気の早い話ですが、地域協議会も第5期目を迎えまして、10年一区切りという最後の期となり、いよいよ地域協議会のまとめの時期に入ったという気がしております。まとめの時期に入ったと同時に、今、石狩市では第5期の総合計画をこれから始めようとしております。これは石狩市と厚田村が合併をし、その時に第4期が作られた訳ですが、その4期の時代がすごく早く変わっている事から、4期の時に発想した構想が実現に向けては難しく、時代の方が先に進んでしまっているの、前倒しをし、先の方に進めようという事で本日、第1回目の審議会がありました。

本日は、新旧委員の歓送迎会と田岡市長との交流会も予定しており、その場で市長からお話があると思いますが、これからのまちづくり、市政そのものが、今までは市の職員がある程度原案を作り、その作られた計画そのものをトップダウン方式で上から下りてきていた訳ですが、それでは時代に付いていけないので、市民感覚でそれを作りあげていくという事をしている訳です。その為、総合計画も市民の為の総合計画となり、今までのやり方とは大きく変わった方法を取ろうという提案をされてましたけれども、その全く新しい提案が上手い具合に機能するかどうか。今までの政策決定の仕方を根底から変えていくという事です。私達がずっと地域協議会で言ってきた今までの地域づくりとは、役所におんぶに抱っこだった訳ですが、これでは生き抜けない訳で、市では相当数の職員が減らされており、職員数が減らされているからといって、市民サービスがそれだけ減ったという実感を皆さんは持っていますかと言っておりました。そう問われたら厚田支所の職員も相当数が減りましたが、厚田区の皆さんは職員数が減ったからといって非常にサービスが低下したという実感がありますかと、私自身問いなおしてみました。案外その実感が無いのは、区民の皆さん達が手弁当で地域を元気にしようと一生懸命活躍している訳で、正に石狩市が言っている“協働の精神”が厚田に徐々に浸透してきたという気がしました。地域協議会はその位置を担う形で第5期これを進めていきたいと思います。今日の議題にも入っておりますが、その締め括りというのは複合施設を創り上げていこうというのが、お金があるから建てるのだというのではなくて、8年間かけてどんどんソフト面が整備され、自分達の力で動き始めてきましたので、そういう人達が本当に最終的に建物が必要だという事であり、市長の言われたこれからの精神というのは、先ずは人であり、人が繋がりソフト面が出来、最終的にどうしても必要なハードを造らざるを得ない時に造るという事ですから、“協働の精神”がこの地域協議会に息づいていると思いますのでそういう精神やもう一度初心に戻って、そこからまた5期をまとめていきたいと思います。

3. 情報交流（リラックス タイム）

4. 報告事項

- ・複合施設構想策定委員の決定について（資料1により厚田支所地域振興課栗谷主査から説明）
- ・地域協議会情報誌「厚田区あったかニュース第5号」の発行について（資料2により渡邊副会長から説明）

5. 協議事項

地域おこし協力隊選考委員の選出について（資料3）

佐藤会長： それでは協議事項に移らせていただきます。地域おこし協力隊選考委員の選出について、資料3をご覧になりながら高田課長からご説明よろしくお願いします。

高田課長： それでは、私の方から説明させていただきます。

いよいよ26年度から「地域おこし協力隊」導入に向け、隊員の募集を行うわけですが、導入決定に至るまでには、地域協議会での協議を始め、地域住民による検討会を立上げ議論を行うなど、多くの住民の方々に参画をいただいたところです。

この度、隊員選考にあたって、これらの経緯を踏まえ検討に携わった住民の方々にも加わっていただくべきとの判断から、地域おこし協力隊設置要綱の中で、厚田区地域協議会が推薦する委員1名を選考委員とすることとしており、本日協議事項として取り上げたところです。

選出に入る前に、新たな委員さんもいらっしゃいますので、これまでの経緯経過について簡単に確認をしたのち、推薦者を決定していきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

では、資料3をご覧下さい。

始めに「導入に至る経緯経過」ですが、昨年9月の地域協議会で先進自治体「喜茂別町」の視察研修報告をきっかけに、導入に向けた議論が始まり昨年12月に地域協議会として導入の方向性が示され、同時に活動内容など詳細については地域住民による検討会を設置し進めるべきとの提案を受け、25年2月検討会組織が発足されました。その後5回の会議を経て、本年9月の地域協議会へその詳細が報告、協議会での承認を得た後、市として26年度導入を決定し、現在準備を進めております。

なお、この検討会の委員として地域協議会からは「佐藤会長」と「前田委員」の2名が地域住民と共に参画いただき、ご尽力を賜りました。また、佐藤会長には検討会の会長という立場も担っていただき、この検討会を引っ張っていただいたところです。

この場をお借りし、お二人には、あらためて感謝とお礼を申し上げます。

次に、導入する「地域おこし協力隊」の主な概要です。

この部分については、最終的には市にお任せいただくということで確認をしていたところではありますが、本年9月の地域協議会において、募集人数や報酬の額、光熱費の支給について、皆様からご意見をいただいたところで、これを受け石狩市として、その内容を正式に決定しておりますので、その点も合わせてお知らせしたいと思います。

まず、『活動内容』ですが4つ掲げておりますが、厚田区の方向性としては、始めから活動内容を絞り込みルールに乗せ活動を『させる』『やらせる』のではなく、隊員のフレッシュな視点・感性を最大限活かすという事を最も重要視し、地域でのさまざまな活動を通して、主体的に住民と関わりを持っていただき、自由な発想のもと活動詳細・目標を絞り込み、起業・定住を意識しながら、自主的に地域おこし活動を企画・実践していただくという活動内容となっております。

募集人数は、厚田区としては2名、両区で4名となります。

要件について4点ほど記載されていますが、地公法16条の欠格条項に該当しない者、厚田区に住民票を異動する者、普通自動車の運転免許証を所持する者、地域振興に対する意欲や情熱を持ち合わせており、隊員終了後に定住する意欲のある者としております。

次に任用形態・期間・勤務条件ですが、『身分』は第1種非常勤職員で、特定の業務を処理するために任用される非常勤職員とし、特別職に属します。出勤時間に制限を受けず、土日祝日の活動や、地域団体など夜の会議などにも参画しやすい体制が組めるよう配慮し、第1種非常勤職員としたところです。

任用期間は、26年4月から1年間となりますが、1年毎に更新する事ができ、最大3年、29年3月まで任用を延長することができます。

勤務時間は、1週間当たり29時間から38時間45分。週5日勤務とし、厚田支所長が勤務時間の割振りを行う事となります。

休暇は、「年次有給休暇」と「病気休暇」が与えられ、また、活動に必要となる「公用車」と「パソコン」を配備することとしております

次に報酬ですが、皆さんからの意見を受け財政部局も交え検討を重ねたわけですが、最終的には記載のとおり特別交付税200万円の範囲の16万6千円の報酬という結論となりました。

また、冬期間の燃料手当が支給できないかとの付帯意見を受けておりましたが、特別職は手当の支給ができないこと、隊員の活動のしやすさを最優先すると特別職の位置付けが望ましいとの判断から、このような結果となりました。

ただ、前回もお話したとは思いますが 当市においては、住宅については民間アパートを市が借上げ無償貸与します。現時点においては望来の佐藤マンションが想定されており、月額4～5万程度の家賃を市が全額負担することとなり、新年度予算にて計上する運びとなっております。

個々にご意見もあろうかと思いますが、このような形で決定をし、予算措置等含め進めさせていただいております事を何とぞご理解願いたいと存じます。

次に募集と選考方法ですが、大手求人広告サイト『リクナビ』『マイナビ』の活用と市のHPや移住交流推進機構（JOIN）HPに掲載をすることで現在準備を進めております。

選考方法は、書類審査と面接で決定し、選考委員については資料3裏面上段記載の6名となります

今後のスケジュール予定は、25年11月の募集経費の補正予算は、すでに12月議会において議決を得ており、本日選考委員を決定し、明日12月20日から募集を開始し、2月上旬書類審査後、中旬から下旬の面接による選考で3月上旬 採用者を決定し、4月より活動が開始となります

また、応募にあたっては、市の指定用紙で応募する事を定めており、指定の応募用紙裏面には、①応募の動機、②あなたの技術・経験をどう活かしたいか、③隊員としてどのような活動をしたいかを記載する欄を設けております

また、2次選考面接は中段に記載のとおり日程が決定しており、石狩と東京の2会場で面接が予定されています。

以上、これまでの経緯経過を簡単に説明させていただきました。

この後厚田区地域協議会として、選考委員1名を選出願いたいと思います。

私からは以上です。

佐藤会長： ありがとうございます。昨年の9月からこの地域おこし協力隊の導入に向けて、この

地域協議会から立ち上がった検討会の結果、このような導入の要旨が決定致しました。今までの説明のところで、選考の日程も含めまして何か質問はございませんか。

【質問なし】

佐藤会長： 質問がないようですので、地域協議会からの1名の推薦についてどのような方法で行なえばよろしいでしょうか。事務局で何か選考方法について案はありますか。

高田課長： 今、経過もお話しさせていただき、流れも解っていただいたと思いますので、推薦していただければと思います。

柴田委員： 選考委員の大枠の人数はどの位なんでしょうか。

高田課長： 選考委員については、裏面に記載されております企画経済部長、企画担当職員、厚田支所長及び浜益支所長が指名する職員各1名、厚田区及び浜益区地域協議会が指名する1名となっております。

柴田委員： そういう事でしたら、私の意見としては佐藤会長が、今までの検討会からの携わりもありますので、お忙しいとは思いますが会長に最後までお願いしたいと思っておりますがどうでしょうか。

佐藤会長： 今の意見に対して皆さんいかがでしょうか。

【異議なし】

佐藤会長： それでは、地域協議会の推薦という事で選考委員をお引き受け致します。以上で協議事項を終了させていただきます。

6. その他

・次回会議等の日程について

平成26年1月29日（木） 18：30 ～ 厚田保健センター 多目的ホール

7. 閉会

平成26年1月29日事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会 長 佐藤 勝彦